

アジア原子力協力フォーラム (FNCA)
第1回「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル
の開催について

平成16年10月12日
原子力委員会

1. 背景

- (1) アジアは、経済成長と人口増加が大きい地域であり、今後のエネルギー需要も大きく増大していくと予測されている。アジア地域の持続的発展を考えていくためには、長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から、原子力エネルギーの役割を評価していく必要がある。
- (2) このため、FNCAとしては、この課題に積極的に取り組んでいくこととし、2003年12月に開催されたFNCA第4回大臣級会合において、「アジアの持続的な発展における原子力エネルギーの役割」を検討するパネル設置が了承され、アジア地域における原子力エネルギーの役割について検討を行うこととなった。

2. 目的

FNCA参加国及び東南アジア地域における長期（2030年まで及び2030年以降）のエネルギー需給見通し等を踏まえ、安定供給、環境への影響、経済性などの観点からアジアを持続的に発展させるために必要なエネルギー供給上の課題及び問題点を抽出する。さらに、これらの課題及び問題点に対し、原子力エネルギーが果せる役割を明らかにするとともに、その他の異なる解決手段との利害得失を環境、安定供給、経済性などの面から比較検討する。

3. 主催

内閣府 原子力委員会

4. 開催時期

平成16年10月20日（水）～21日（木）

5. 開催場所

東京（キャピトル東急ホテル）

6. 参加国

中国、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、日本（オーストラリアは今回不参加）

7. メンバー

各国のエネルギー・環境政策、原子力政策に関わる行政官及び専門家

8. パネル設置期間

2004年度～06年度（3カ年）

<参考：パネル会合進め方のイメージ>

平成16年度

- パネルの目的及び意義、進め方について
- 中長期的なエネルギー計画、原子力エネルギーの役割及びエネルギー供給源が環境に与える影響等について、各国がカントリーレポートを発表
- エネルギー供給における原子力の役割と可能性の予備検討

平成17年度

- 原子力エネルギーの果たす役割と原子力エネルギー導入にあたっての課題等について討議

平成18年度

- 報告書案と提言案の検討

プログラム (案)

平成16年10月20日(水)

9:30-10:00 開会挨拶等

10:00-11:30 セッション1「検討パネルの進め方」
(1) パネルの目的及び全体計画
(2) アジアにおける経済成長とエネルギー需要予測

13:00-17:05 セッション2「カントリーレポートの発表Ⅰ」
(各国発表約45分×5カ国)

18:00 レセプション

平成16年10月21日(木)

9:00-11:30 セッション2「カントリーレポートの発表Ⅱ」
(各国発表約45分×3カ国)

13:00-15:15 セッション3「共通課題についてのイントロダクトスピーチと討論」
(1) 持続的発展とエネルギーを巡る国際的動向
(2) 原子力エネルギーの特徴
(3) 地球温暖化と京都議定書

15:50-16:20 セッション4「パネル会合の将来計画」

17:20-18:20 セッション5「まとめ」